



保護者各位

平成 29 年 4 月 13 日

本日、休園されたお子さんが水ぼうそうと診断されました。子どもはあせもや水いぼ、虫刺されなど皮膚トラブルが起こりやすく、水ぼうそうと区別しづらいことも多いです。お子さんの身体をよく観察していただき、発疹などの症状が出たら受診をお願い致します。園で症状が出た場合もご連絡し受診をお願いしますので、ご協力をお願いいたします。



水ぼうそう (水痘)

春から夏にかけて流行しやすく、飛沫感染や空気感染が主な原因です。患者の水ぼうそうがつぶれたときのリンパ液からも感染します。発しんがすべてかさぶたになるまで登園停止となっています。

症状

潜伏期間 2～3週間



やわらかい
ところに発しん



半日から1日で



全身に発しん

潜伏期間は2～3週間。微熱が出ると同時に体のやわらかいところに発しんができ、半日から1日で胸、背中、手足などの全身に広がります。直径2～5mmくらいの赤い斑点で、1～2日で中央に水ぼうそうができて、かゆみや痛みも出てきます。

登園基準

学校感染症に指定された病気です。すべての発疹が痂皮化し、医師の許可を得てからの登園になります。

予防接種を受けていない人ははやめに受けることをお勧めいたします。